

平成 27 年度 公園利用者懇談会 会議録(概要)

開催日時：平成 28 年 2 月 18 日(木) 14:00～15:40

場所：鎌倉中央公園管理棟 研修室

出席者：委員…岩田・小幡・黒川・飯田・金川・柳沼・小池・小島・大村・鈴木(実)
(敬称略) 公園協会…土屋常務理事・森屋課長・中村係長・千田・野崎・島崎

【会議の概要】

主催者である公園協会常務理事からの挨拶、委員の自己紹介、事務局職員の紹介の後、次第のとおり進行し、その概要は次のとおり。

【公園協会の事業運営状況について】

公園協会森屋課長から、パワーポイントにより、緑の相談、ミニ園芸教室、啓発事業、各種イベント、公園サポーターの活動状況、公園の管理状況(鎌倉中央公園の木道修繕、除草、剪定、倒木処理等)の説明がされた。

【意見交換】(◆：事務局 ◇：委員)

- ◆ 事務局から昨年度の当会では、防犯カメラの設置、バスの増便、LED 化などの意見があった旨説明。
- ◇ LED については、明るいので生態系への影響が懸念される。照明灯の下にどのような昆虫等が落ちているかなど調べることも大切である。病害虫の増加するようなこともある。いずれにしても、自然環境に対しては、試しながら実施していくことが必要である。
- ◇ 保育園の子どもを公園に連れていくが、整備され安全である、安心して遊ばせることができる。また、他の利用者と共存して利用している。
- ◇ 永福寺跡の整備も進んできており、公園協会のようなところで一括して管理することが良いと考えている。
- ◇ 公園協会の事業は拡大しているが、それに比べ職員の増加が予算等の関係からできず対応に苦慮しているのが現状である。ボランティアの方々の支援により事業を行ってきている。永福寺跡の管理については、市から相談等はないが、歴史的環境の面もあり、難しい運営管理と推測している。
- ◇ 20 数年前から比べると、公園協会の事業が多くなっている。県で生物多様性地域戦略を策定しており、生物多様性に配慮した公園管理が必要になってきており、効率的な管理につながる。

草刈もまだらにすることや、利用者に支障がない伐採した木をそのままにするなどで、生物多様性に役立つこともある。

また、鎌倉中央公園のチャンチンも萌芽している株があり、更新のための伐採をしてもよいと思う。
- ◆ 伐採した木をそのままにするなどは、他の利用者から管理が十分でないという

意見がでることも想定され、きちんと看板等で掲示して理解を求めることなどの対応も必要になる。

- ◇ 県の野生鳥獣の委員から、日本では狂犬病は絶滅したが、周辺国では存在しており、入ってくる可能性もあるとの意見があった。イノシシ、キツネ、サルなどの離れ個体が鎌倉でも見られ、また、ペットは予防により発症していないが菌を持っており、野生生物に感染する恐れもある。今後、気を付ける必要がある。
- ◇ 公園にもイノシシ等が入ってくる可能性もあり、対応を想定しておく必要がある。ボーイスカウトの活動では、長袖長ズボンを徹底している。
- ◇ 木道の基礎は、擬木でもよいのではないか。
- ◆ 基礎部はFRPであり、かさ上げして木道を設置したものである。

公園利用者懇談会 委員名簿

| 分類 | NO | 選出団体等 |
|------------|----|----------------------------|
| 活動団体 | 1 | 鎌倉自主探鳥会グループ 代表世話役 |
| | 2 | 公園サポーター |
| | 3 | 山崎・谷戸の会 事務局長 |
| | 4 | 鎌倉市公園・街路樹愛護会連絡会 地域代表（腰越地域） |
| 利用団体 | 5 | 鎌倉老人クラブ連合会 会長 |
| | 6 | 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会 常務理事 |
| | 7 | 鎌倉市立小学校教頭会（山崎小学校教頭） |
| | 8 | 鎌倉市公立保育園園長会（稲瀬川保育園園長） |
| | 9 | 鎌倉市青少年指導員連絡協議会 副会長 |
| | 10 | 鎌倉市体育協会 副会長 |
| 安全安心に関する団体 | 11 | 鎌倉防犯協会 会長 |
| 鎌倉市職員 | 12 | 鎌倉市都市整備部公園課課長 |